

応募前にチェック！

原稿チェックシート

第 31 回技術論文報告

チェック欄✓

応募要件	☐	【1】主執筆者・共同執筆者： 土木施工管理技士 1 級または 2 級（技士補を含む）、もしくは技術士（建設部門）の有資格者である
	☐	【2】応募する技術論文報告：既に他団体等で公表したものではない
	☐	【3】CPDS 登録情報の資格欄：該当資格を登録してある ➡登録内容変更申請より資格と番号を入力しておいてください
原稿形式	☐	【4】 応募年度の原稿ひな型 を使用している ➡必ずホームページから原稿ひな型をダウンロードしてこれを使用してください
	☐	【5】書式（日本語・英数字とも）： ①本文：MS 明朝 10.5 ポイントになっている ②図等のキャプション： MS ゴシック 10.5 ポイント になっている（本文中含む） ③ 英数字：半角（1 文字も） カタカナ：全角になっている
	☐	【6】文字数とページ数：（必須文字数ないものは不受理） 「技術論文」本文：図・表を含み 3,200 字以上（必須） ～4,000 字 4 ページ以内 「技術報告」本文：図・表を含み 1,600 字以上（必須） ～2,000 字 2 ページ以内 ※ 参考文献等・要旨の記載：文字数には含まない ※ 文字数カウント方法は、次ページを参照➡必ずカウントしてください
	☐	【7】図（写真も図として表記）・表：それぞれ通し番号と簡単なタイトルがついている ➡図：下 表：上につけてある ➡写真：図番号で表記（写真-1 ではなく、図-1 とする）
	☐	【8】図（写真）・表：白黒印刷して鮮明に表示される ➡審査用原稿 及び 論文集は、原稿を A 4 サイズで白黒印刷したものにします
	☐	【9】文体：「である」調になっている ➡「です」「ます」調のものは、修正してください
☐	【10】「要旨」：入力している（論文のみ） ➡原稿ひな型の最後に「要旨」入力欄があります	

審査の流れ（応募締切：11 月 30 日）

12 月初旬～1 月中旬	1 次審査	●文字数や形式等に不備があった場合：保留メール送付 ➡指定の期日までに再提出がない場合：内容にかかわらず不受理となります
1 月下旬～2 月中旬	2 次審査	●応募要項を満たしており、さらに内容が一定水準以上のものを受理 ➡受理ユニットを付与いたします（2 月初旬）
3 月中旬	最終審査	●全受理論文を対象に「技術論文審査委員会」で審査し表彰者を決定 ➡表彰者には受賞ユニットを付与いたします（4 月初旬）
5 月末	表彰式	●定時総会後 ➡「最優秀論文賞」の表彰をいたします

【文字数カウント方法】word（本文の「1. はじめに」～）

校閲>文字カウント>☐テキストボックス、脚注、文末脚注を含める(F)（チェックを外す）
>文字数（スペースを含めない）

論文：3,200 字以上（必須）～4,000 字 4 ページ以内

報告：1,600 字以上（必須）～2,000 字 2 ページ以内

自動保存 論文チェックリスト... 検索 (Alt+Q) サインイン

ファイル ホーム 挿入 描画 デザイン レイアウト 参考資料 差し込み文書 **校閲** 表示 ヘルプ

スペルチェッカーと文法校正 **文字カウント** 音声読み上げ アクセシビリティチェック 翻訳 言語 新コメント 削除 コメントの表示 変更履歴の記録 [変更履歴] ウィンドウ 承諾 元に戻す 前へ 次へ 比較 編集のブロック 編集の制限 インクを非表示にする

文章校正 音声 アクセシビリティ 言語 コメント 変更履歴 変更箇所 比較 保護 インク

文字カウント

統計:

ページ数	2
単語数	1,624
文字数 (スペースを含めない)	1,747
文字数 (スペースを含める)	1,797
段落数	64
行数	126
半角英数の単語数	56
全角文字 + 半角カタカナの数	1,568

☐ テキストボックス、脚注、文末脚注を含める(F)

閉じる

9999 軟弱地盤における...
所属技士会名：〇〇県土木施...
会社名：株式会社〇〇土木...
主執筆者 名前：土木

1. はじめに...
本工事は、一般国道100号〇〇バイパスの終点...
でも〇〇県〇市での現道拡幅工事である...
今回、課題に取り上げたのは、軟弱地盤におけ...
る水路の基礎検討と施工方法について計画・実施...
について取りまとめたものである。

工事概要
(1) 工事名：平成〇〇年度 100号〇〇東

ング試験により現状地盤の状況を確認した。その結果は、換算N値が3以下となる軟弱地盤が確認されたため、基礎の検討を行った。水路の不同流下防止のため、カルバート工指針を参考に台付管の基礎厚を10cmから30cmへ変更した。